

2023年3月22日

公益社団法人全国出版協会 2023年度事業計画

(2023年度 2023年4月1日から2024年3月31日まで)

1. 出版物の調査、研究、統計および情報提供に関する事業 (公益目的事業1)

1) 出版物の発行・販売動態等の調査研究および統計データの作成

2) 分野別出版傾向等の調査分析

3) 電子出版市場全般の調査・研究

4) 出版科学研究所の運営による出版に関する調査分析成果の発表

①第1項の目的を実現するため、出版物の動態調査および関連する事態の調査研究機関として出版科学研究所の運営を行う

②出版物に関する調査研究をもとに下記5)の刊行物を発行する

5) 刊行物

2022年臨時総会(2022年12月12日)の決議に基づき、2023年4月より、デジタル化を見据え事業を再編成し、ブランド強化を図る。

業界唯一の公的調査機関として、出版科学研究所の刊行物については、『出版指標』に統一し、ブランド価値の向上に努める。

【定期刊行物】

- 月刊誌『出版月報』は2023年3月号をもって刊行を変更し、『季刊出版指標』として季刊化する(刊行は4月、7月、10月、1月の25日を予定)
- 『出版指標年報』は従来通り年1回の刊行とする。
(2023年版は6月30日刊行予定)

- 『ニュースの索引』は2023年3月号をもって休刊、『出版月報』増刊号は当面休止する。

【頒価改定】

- 単冊 『季刊出版指標』頒価4,400円(本体4,000円+税)
『出版指標年報』頒価19,800円(本体18,000円+税)
- 定期購読コース (送料無料)
『季刊出版指標』定期購読コース(年4冊) 頒価17,600円
『全誌購読』定期購読コース(年5冊) 頒価37,400円

- なお、月刊誌の季刊化に伴い、月次の出版統計に関してはデジタルデータでの提供を開始する。デジタルデータは『出版指標マンスリーレポート』として、毎月25日ごろに作成し、発表する。
- 『出版指標マンスリーレポート』は当協会会員社には会員専用サイトにて公開し、会員社と定期購読者の希望者にはPDF版を無料で提供する。

6) 刊行物の定期購読会員促進等

- ・事業見直し・刊行変更を機に、ホームページのさらなる内容充実を進め、会員社・購読者への利便向上に努め、会員増・定期購読促進を図る
- ・出科研および全協の認知度を高めるため、さらなる広報活動に努める。

7) 出版セミナーの開催

- ・出版セミナーは、当面の間休止する

8) 出版物に関する情報提供（レファレンスサービス）

- ・新聞・放送・雑誌等マスコミからの取材、出版業界および関連業界や一般からの出版に関するさまざまな問い合わせに対応し、出版業界に対する理解が深まるよう努める。

2. 文字・活字文化の振興と啓発および調査研究に関する事業

（公益目的事業2）

（公財）高橋松之助記念顕彰財団の顕彰事業に対し、全協として人的・広報面での協力等を行うことにより、学校における「朝の読書」活動のさらなる展開と、全国の多様な読書推進活動の顕彰・支援により、文字・活字文化の振興に寄与する

- ・会員社をはじめ当協会・研究所利用者に対し、更なる利便性の向上を図るべく、デジタル化の取り組みを積極化させます。
- ・月次のデータ提供について『出版指標マンスリーレポート』として提供することは、具体的な取り組みの一つです。
- ・紙＋デジタルでの情報提供は、速報性と網羅性を実現します。電子出版を含めた動態調査・出版市場統計発表も行います。
- ・『季刊 出版指標』は、ページ数を増やし内容を充実させます。また、ホームページも改修します。
- ・引き続き経費削減に努め、今後はデータ販売等も検討し、収益の改善を図ります。
- ・事業再編等による定款変更は、必要に応じて検討し、定時総会にて諮ります。